



年度末アンケート集計結果

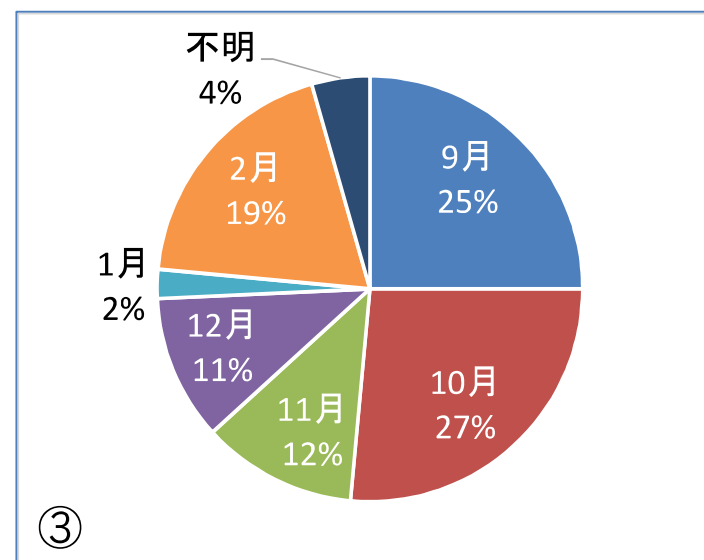
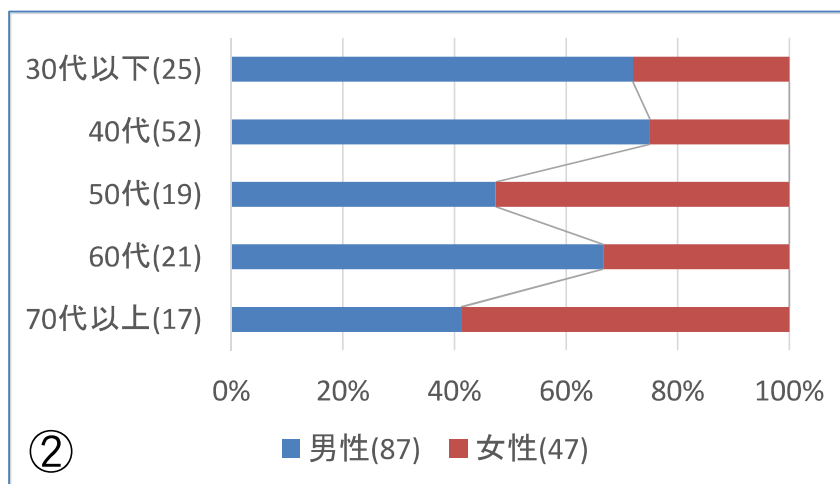
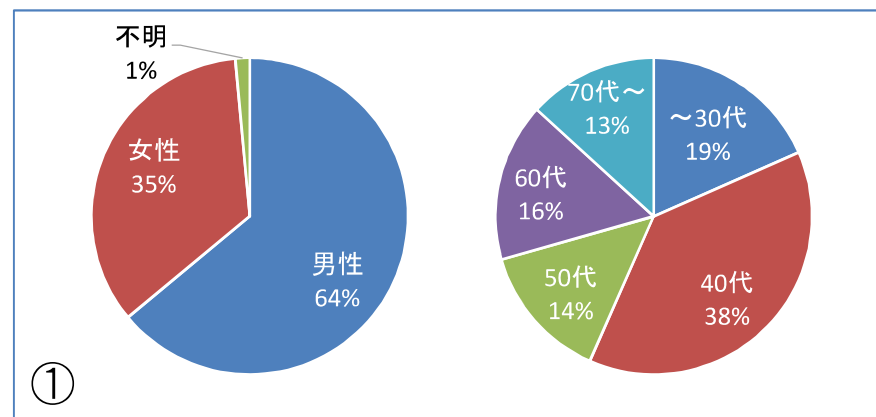
調査概要

- 対象：2015年2月7日時点の参加者281名
- 時期：2015年3月
- 方法：Webまたは郵送（登録時の希望による）
- 配布数：281
(Web158, 郵送123)
- 回収数：136
(Web51, 郵送85)
- 回収率：48.4%



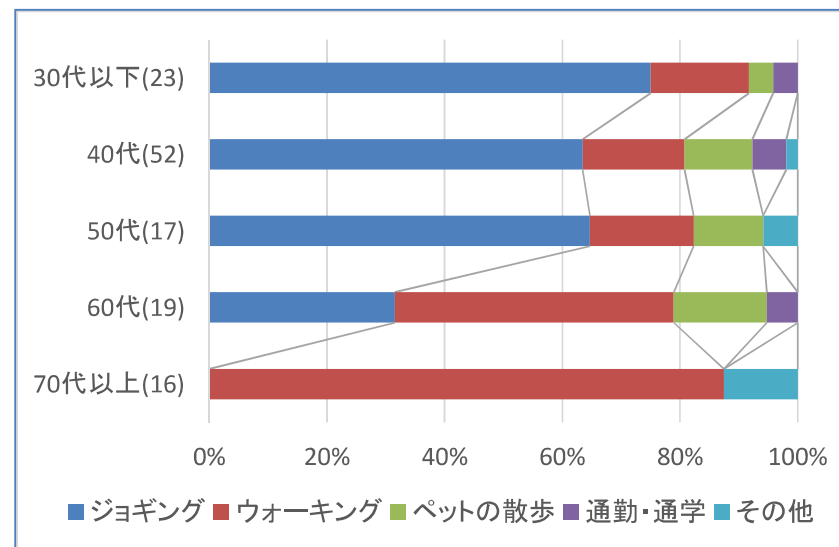
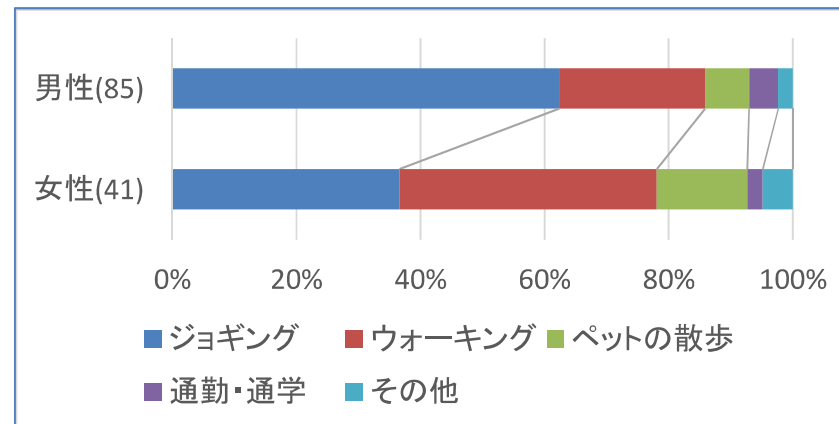
属性、活動開始月

- ① 男女比はほぼ2:1。年齢は40代が最多、30歳未満は1名のみ。
- ② 小学生の親世代である30,40代は男性が中心。50代,70代以上は女性が多い。
- ③ 活動開始は9,10月で約半数。健康マラソン会場で出張受付を行った2月も多い。

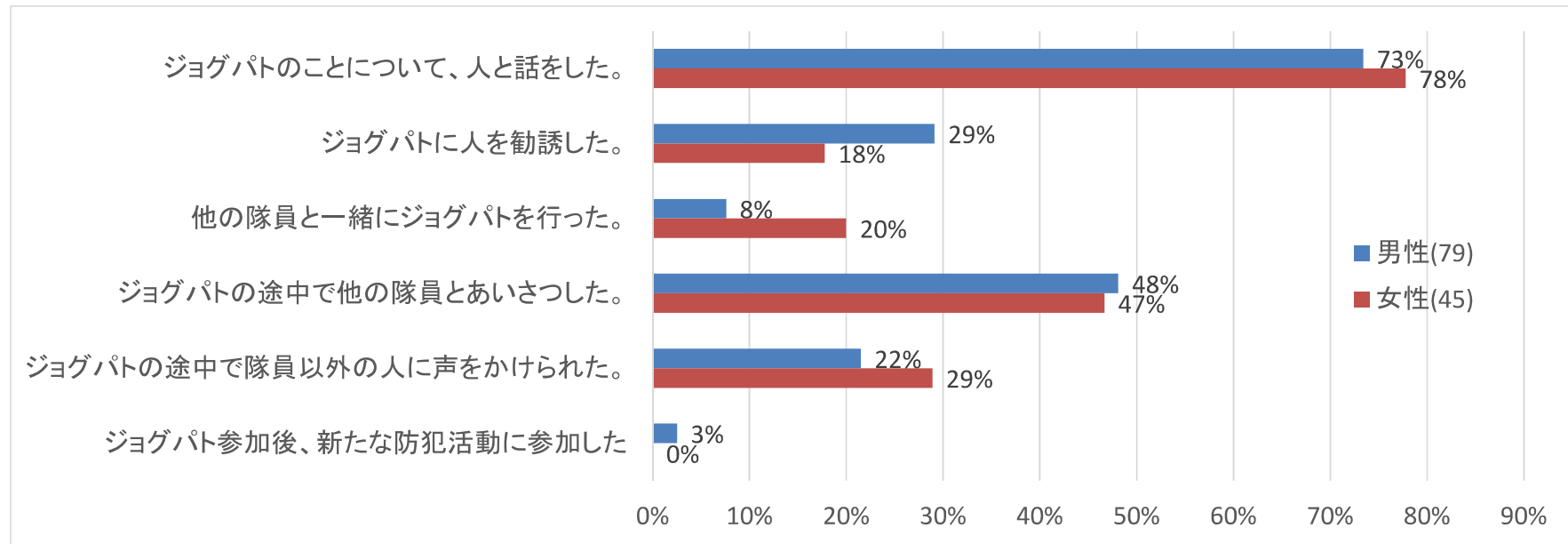


活動内容

- 活動内容はジョギングが約半数。男性では6割を超えるが女性はウォーキングがやや多い。
- 50代まではジョギングが6割を超えるが、60代以降はウォーキングの方が多い。

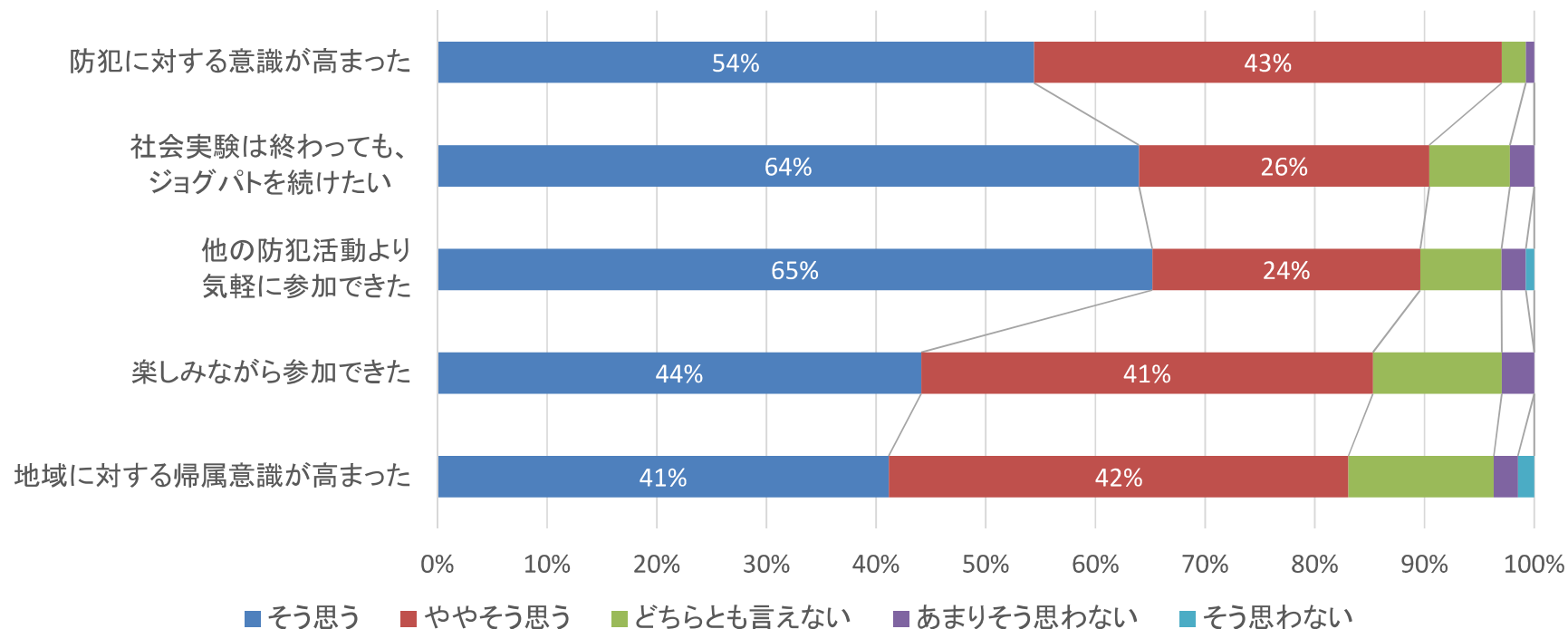


活動中のできごと



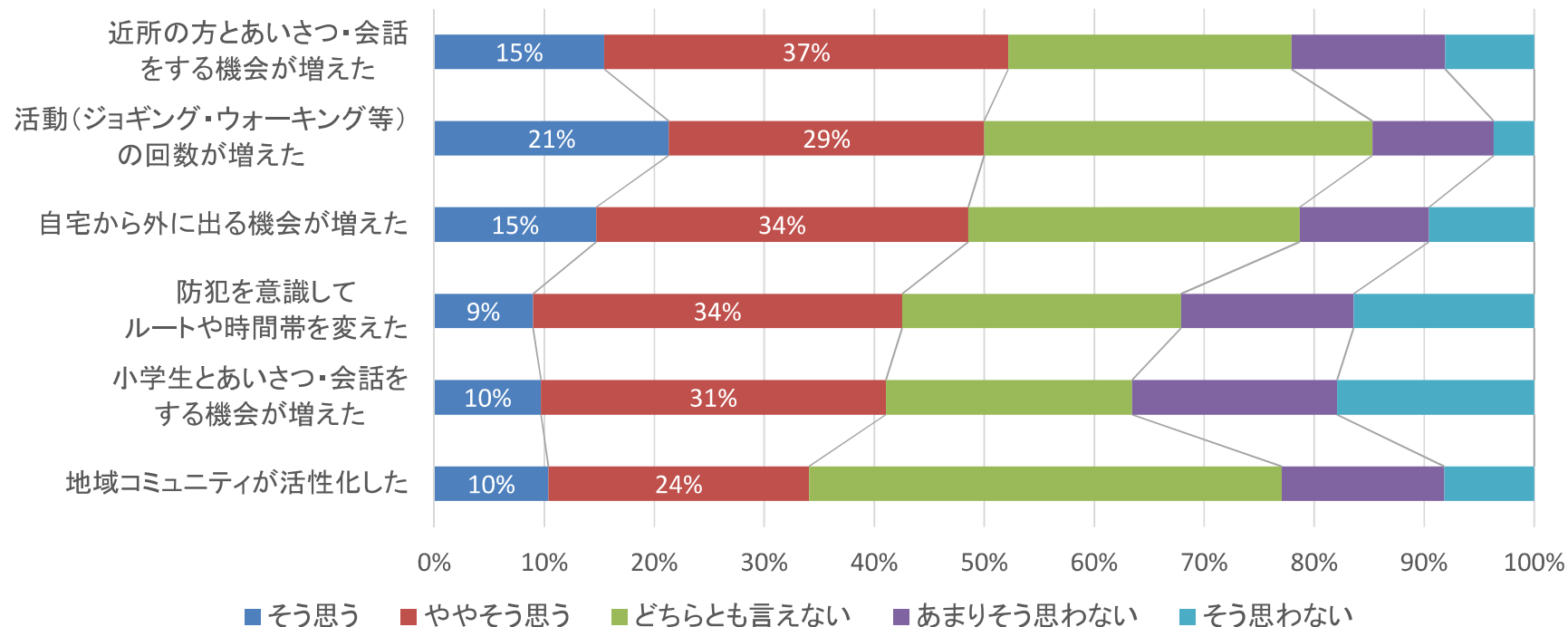
- ジョグパトを話題にした人が男女とも7割を超える。
- 約1/2の参加者は活動中に他の参加者に挨拶し、約1/4は活動中に声をかけられた経験を持つ。
- 男性にはジョグパトへの勧誘経験のある人、女性には他の参加者と一緒に活動した経験のある人が多い。

ジョグパトに対する評価 (1)



- 意識面での変化が大きい（防犯意識、帰属意識）。
- ジョグパトの特徴である「気軽に・楽しく」が評価され、継続意志を持つ参加者が多い。

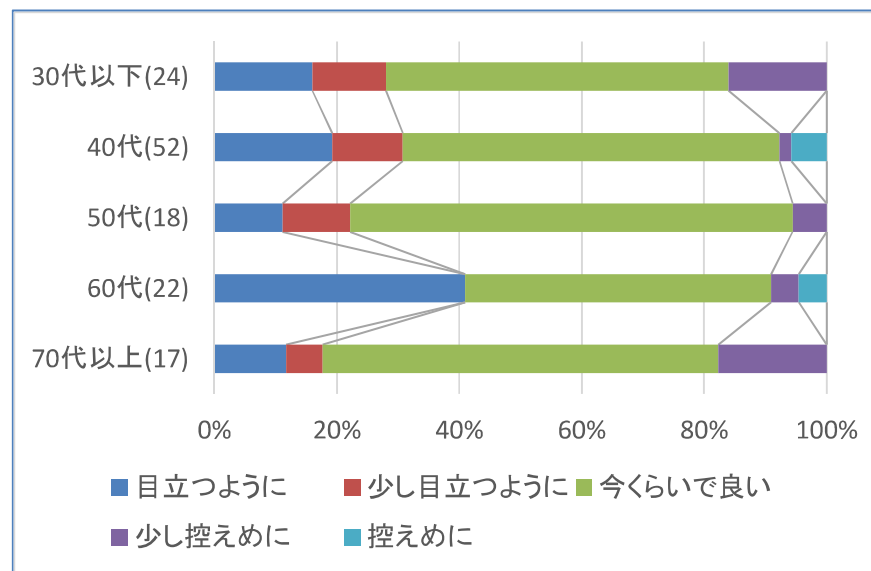
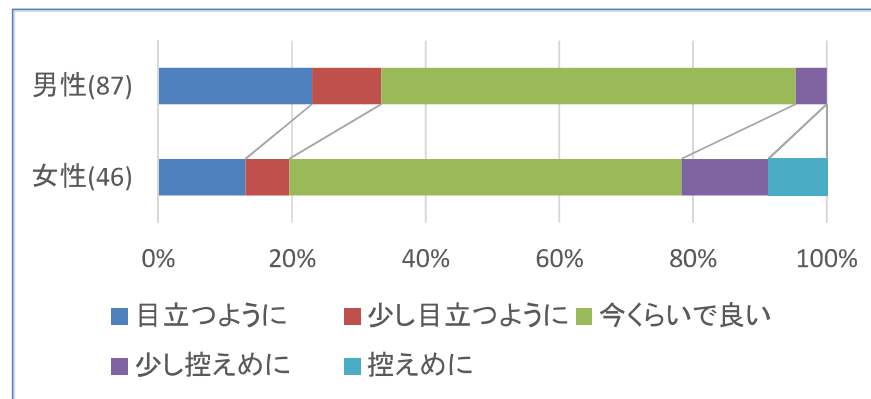
ジョグパトに対する評価 (2)



- 回数増加（そう思う/ややそう思うで50%）、ルートや時間帯の変更（同43%）といった行動変容も見られる。
- 近所の人（同52%）や小学生（同41%）と挨拶や会話が増えた参加者が約半数。

ビブスのデザインについて

- 約6割の方が「今くらいでよい」と考えている。
- 男性の1/3は目立つようにした方がよいという意見。女性は控えめにした方がよいという意見が比較的多い。
- 年齢別に見ると、60代に目立つようにした方がよいという意見が多い。



自由回答 (1)

※括弧内の数字は同様の意見数

- ビブスのデザインについて
 - 冬季にジャンパーの上に着用したり、大柄でも着用できるように大きめのサイズも欲しい (14)
 - 夜間利用のため、反射板を付れたり、反射・蛍光素材にすると良い（腕や足に巻く反射材配布も） (13)
 - リュックを背負うので前面を目立つように (1)
 - 警察の名前を入れる (1), 通し番号を入れる (1)
- ビブス以外の用具の提案
 - 帽子 (12)
 - タスキ (5), 腕章 (5)
 - 帽子に付けるライト (4)
 - エコバッグ (1), 冬用ジャンパー (1), 防犯ブザー (1)



自由回答 (2)

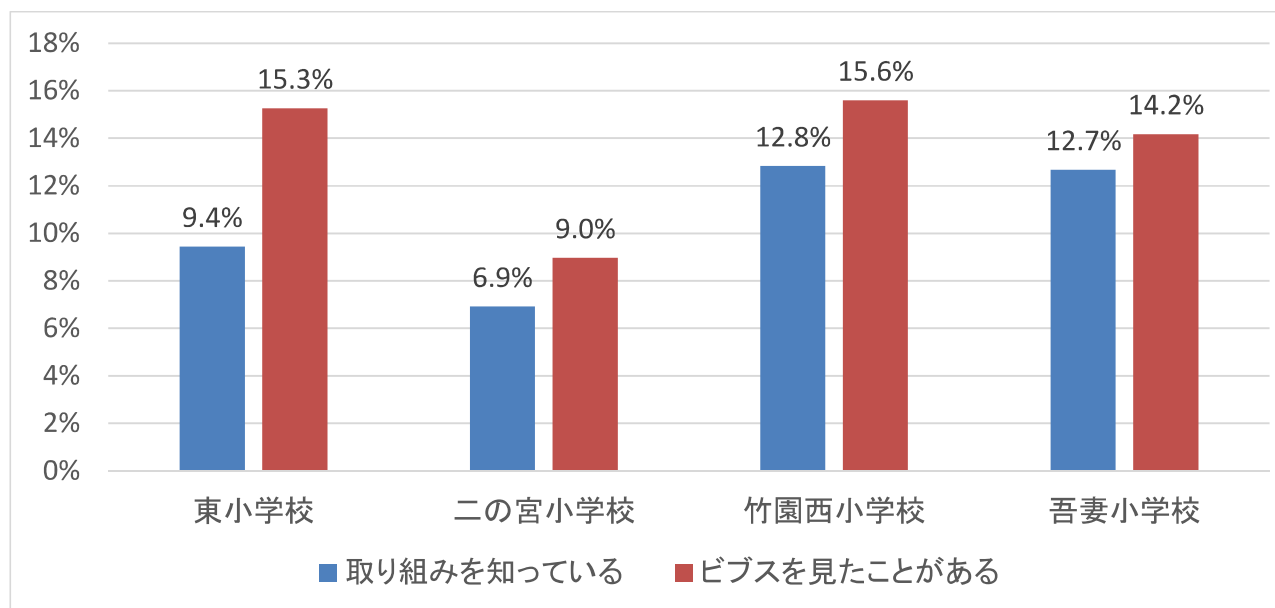
- ジョグパトの運営について
 - 参加者が一堂に集まってパトロールする日があると良い
 - 近所の参加者を知りたい
- 応募方法について
 - 筑波大学体育専門学群の近くで勧誘すれば大学生が集まる
 - スポーツ少年団とも連携できると良い
 - つくばマラソンで希望者にビブスを配布するとよい
- 自身のやりがいについて
 - 自身の健康のために行っているジョギングが周りの役にたっているとしたらすごく嬉しい。

その他、街灯が少ない箇所、自転車の危険箇所など、活動中に気づいたことが多く書かれており、まちづくりとの連携も期待される。

参考

小学生の認知度

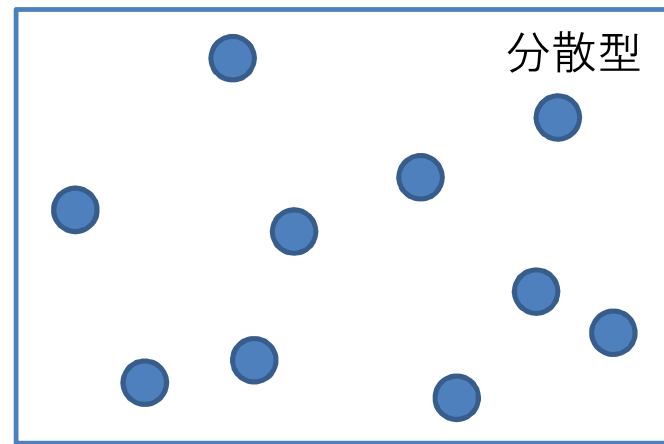
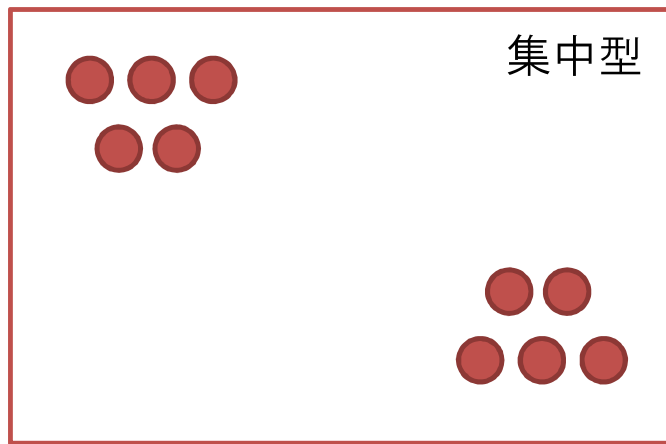
- 幹線ペデ（つくば公園通り）に近い小学校の全児童に各校教員から質問し、挙手で回答を得た（2015年3月）



- 「知っている」はセンターに近い竹西小、吾妻小が多い。
- 「見たことがある」はペデに隣接する東小、竹西小が多い。

参考

従来型のパトロールとジョグパトの比較



	従来型	ジョグパト
活動単位	グループ	個人
時間帯	既定	任意
場所	既定/自由	自由(神出鬼没)
目的	防犯	ジョギング等 + 防犯
服装	ジャンパー、赤色灯、タスキ等	ビブス
属性	年配の男性中心	男女問わず大学生～年配の方